

元気なまちかど

「忍者」の魅力を再発見 甲賀市留学生観光サポーター活動



▲忍者になりきり忍術屋敷を探検

甲賀市観光サポーターとして活動している外国人留学生3名が6月23日、「忍者コース」として甲賀流忍術屋敷をはじめ、くすり学習館や油日神社など甲南・甲賀の観光スポットをめぐる予定です。

甲賀流忍術屋敷では、外敵に備えた様々な仕掛けの説明を聞いた後、忍び装束に変装し、手裏剣投げを体験したり、忍者になったつもりで屋敷を探検したりしていました。

中国出身の留学生は、「忍者は、逃げるイメージが無かったので驚いた。300年前の建物が保存され、衣装を着て体験できるなど日本ならではの新たな発見を話しました。

当日の感想は、観光情報を交え個人のフェイスブックなどで、海外にも発信されています。

自慢ののどを競う

第22回鈴鹿馬子唄全国大会



▲少年少女の部で優勝に輝いた神田留愛さん

○少年少女の部	優勝 神田留愛
準優勝 土山太聖	
5位 小西風道	6位 原つや子
7位 木村光	8位 堀和真
9位 前田真由	10位 山下愛奈
○一般若年の部	
準優勝 田中千鶴	

第22回鈴鹿馬子唄全国大会が6月16日、あいの土山文化ホールで開催されました。地元をはじめ県内外から、一般99名、少年少女49名の計148名が出場し、自慢ののどを競い合いました。決勝では緊張感が漂う中、出場者は日頃の成果を発揮し、少年少女の部では甲賀市の神田さんが優勝に輝きました。また、オープンングやアトラクションでは、土山の4小学校児童が合唱を披露し、大会を盛り上げました。

市内の入賞者は次のとおりです。
(敬称略)

お話会で滋賀の「宝物」にふれる 雲井小学校・児童文学作家 今関信子さんによるお話会

守山市在住の児童文学作家今関信子さんによるお話会が6月25日、雲井小学校で行われました。

1年生から4年生を対象にしたお話会では、今関さんが初めて本を書いた体験をもとに、色んなものに関心を持って周囲をよく見ることが大切だと伝えました。

また、沖島での暮らしを描いた絵本『ぎんのなみおどる』の読み聞かせが行われ、子どもたちは夢中になって聞き入っていました。

滋賀を題材にしたお話を集めた「滋賀の子どもたちから」も紹介され、「滋賀にはおもしろいお話がまだまだたくさんある。目を丸くしておもしろい宝物を探してください」と語りかけました。



▲今関さんのお話に夢中になる児童

地域の学びの場で「脳が目覚めるアート」に挑戦

岩上自治振興会 ミニミニ講座



▲「夏」をイメージしながら色を塗っていく参加者

岩上自治振興会では、地域の方がボランティア講師として得意分野の技や知恵を伝える生涯学習講座「ミニミニ講座」を開催しています。現在、様々な分野で24の講座が開かれ、110名が受講しています。

6月20日には岩上公民館で、福岡千春さんによる講座「脳が目覚めるアート 臨床美術」が開催され、8名が参加しました。

クレパスを使って画用紙に縦横に線を引き、できた枠内に同色が隣り合わないよう塗っていきます。今回は「夏」をテーマに、海やひまわりなど、それぞれが夏をイメージする色を使用しました。

参加者は、集中して取り組み、色鮮やかな世界に一つだけの作品を完成させました。

「元気に育って」稚鮎を放流 第二小学校・河川環境体験学習



▲こわごわ鮎を手に取り学習する児童

甲南第二小学校の河川環境体験学習が6月25日、甲南町市原の杉川で開かれ、5、6年生42名が稚鮎約2500匹を放流しました。

この学習は、放流を通じて、命の尊さや河川保護の大切さを伝えようと野洲川漁業協同組合が毎年実施しているものです。

子どもたちは、「元気に育って」と声をかけながら、バケツで次々と稚鮎を放流しました。

また、焼きたての鮎の塩焼きを味わい、児童は「毎日こんなおいしい魚を食べるために、川はきれいにしないとイケない」と学んだことを振り返りました。

子育ては皆と一緒に

公開「共育」講座



▲皆で一緒に子育てをと呼びかける桜井さん

水口幼稚園が主催する公開「共育」講座が6月21日、水口教会会堂で開催され、同幼稚園児の保護者など約100名が参加しました。

この講座は、子育て中の保護者に、関係の中で共に育てる子育て「共育」を知ってもらおうと毎年開催されています。

今回は、大阪大谷大学教員の桜井智恵子さんを講師に迎え、「脱力系親論」子どもの再生・おとなの反省」をテーマに講演が行われました。

子どもを取り巻く状況に触れ、肩に力を入れないで皆と一緒に子どもと社会を育てるよう呼びかけました。

参加者からは、いじめ問題や子育てについて、多くの質問が寄せられました。